

I 第32週の発生動向 (2014/8/4~8/10)

1. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で警報が解除されました。
2. ヘルパンギーナについては、弘前、上十三保健所管内で前週より**警報**が継続しています。

II 第32週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(90) インフルエンザ															0				
(79) RSウイルス感染症			4	0.4									4	0.1	3				
(80) 咽頭結膜熱			3	0.3	5	0.5			1	0.2			9	0.2	2				
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.3	7	0.8	21	2.1			2	0.3	1	0.3	33	0.8	-29			2	0.3
(82) 感染性胃腸炎	20	2.5	5	0.6	9	0.9	4	0.8	1	0.2	8	2.0	47	1.1	-3			20	2.5
(83) 水痘	4	0.5	3	0.3	4	0.4			3	0.5	4	1.0	18	0.4	0			4	0.5
(84) 手足口病	7	0.9	1	0.1	10	1.0					3	0.8	21	0.5	9			7	0.9
(85) 伝染性紅斑	1	0.1	3	0.3	6	0.6					3	0.5	14	0.3	-5			1	0.1
(86) 突発性発しん	1	0.1	2	0.2	8	0.8	3	0.6	4	0.7			18	0.4	-9			1	0.1
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ	29	3.6	53	5.9	42	4.2	9	1.8	66	11.0	8	2.0	207	4.9	44			29	3.6
(89) 流行性耳下腺炎			2	0.2									2	0.1	-2				
(91) 急性出血性結膜炎															-1				
(92) 流行性角結膜炎					1	0.5			1	0.5			2	0.2	0				
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎											3	3.0	3	0.5	-4				
(101) 無菌性髄膜炎															-6				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1				

は警報、 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患):弘前4人、八戸4人、五所川原1人(2014年計:209人)
- (58) レジオネラ症(四類全数把握疾患):東地方+青森市1人(2014年計:3人)

IV 病原体検出情報

()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。
・無菌性髄膜炎患者(髄液、7/16~7/25)・・・エコーウイルス30型:五所川原(3)

感染症の窓

はやい目

流行性角結膜炎(五類定点把握疾患)



アデノウイルス8型による結膜炎(IDWR 感染症の話より)

流行性角結膜炎は、主にアデノウイルス8、19、37、4型などによる眼感染症で、主として手を介した接触により感染します。別名『はやい目』とも呼ばれます。

潜伏期間は8~14日で、急に発症し、まぶたの腫れ、流涙を伴います。

感染力が強いため両眼が感染しやすいですが、初発眼の方が症状が強いです。耳前リンパ節の腫れを伴います。新生児や乳幼児では偽膜性結膜炎を起こし、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすので注意する必要があります。

平成25年(2013年)の全国における発生状況は、年間を通じて概ね一定でしたが、本県においては、年間を通じて増減を繰り返していました(図1)。また、年齢別患者報告数では、幅広い年齢層にみられています(図2)。

季節としては8月を中心として夏に多いので、今後の発生動向に注意が必要です。

感染予防としては、

- ① 眼分泌物はティッシュペーパーなどで除去し、直接手で触れない
- ② 手洗いを励行する
- ③ 洗面器・タオルを共用しない
- ④ 触れた場所をアルコール綿でよく拭く

などが大切です。

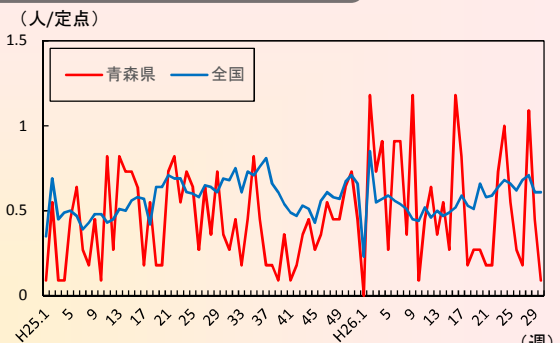


図1 定点当たり報告状況(2013年第1週~14年第30週)

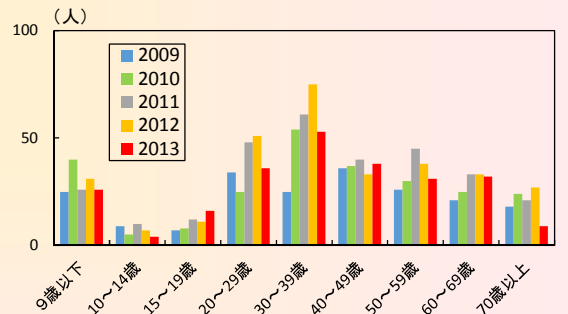


図2 過去5年間の県内における年齢別患者報告数

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第16週～第32週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	レジオネラ症1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第22週～第32週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	2		4	1	1	
27	H26.6.30 ~ H26.7.6	2		2	1	1	
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		5			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	1	1	4	1	1	1
30	H26.7.21 ~ H26.7.27	2	2	3	1		1
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	3	1	7			
32	H26.8.4 ~ H26.8.10		4	4	1		

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2014年第1週～第30週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクサジウイルス症	産産熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリス症	マラリア	ライム病	
累積報告数	14338	3	56	1570	23	10	89	378	8	6	1	1	1	34	7	108	91	79	7	1	32	6	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん				
累積報告数	640	7	627	148	275	80	92	150	857	37	118	22	1159	8	888	73	31	253	418				

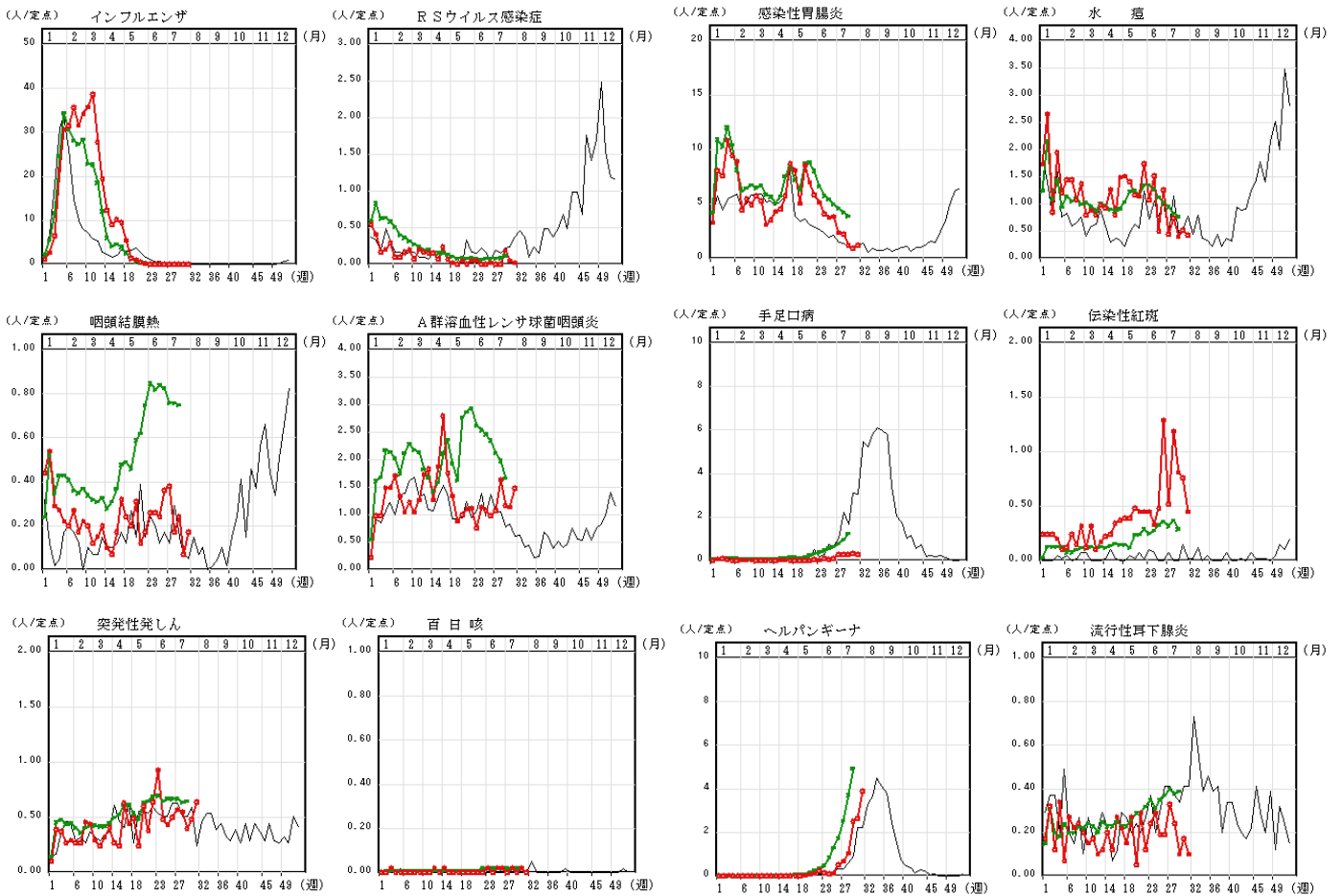
青森県

(2014年第1週～8月12日8:50累計)

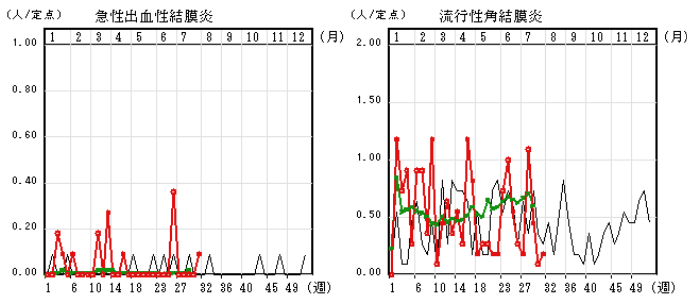
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風				
累積報告数	209	5	2	2	10	3	6	8	1	1	2	1	6	4	1				

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第31週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、—は2013年青森県、×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第31週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第31週)

